

5.32 「はすっぱな」など24語について

「不貞な・貞節な・貞淑な」を除いたこの24語は、回答の集計結果から次の六つのグループにまとめることができる。以下、それぞれのグループごとにその集計結果を報告する。

(1)男×?の多い語	おてんばな・しとやかな・いろいろばい・なまめかしい・あられもない・はすっぱな・尻軽な
(2)男×?と男女○の多い語	ふしだらな・みだらな・不身持な・不倫な
(3)女×?の多い語	わんぱくな
(4)女×?と男女○の多い語	すげべな・エッチな・好色な・おいせつな・卑賤な
(5)男女○の多い語	浮気な・不品行な・いかがわしい
(6)その他	淫蕩な・淫靡な・淫乱な・淫奔な

(a) 男×?の多い語

「おてんばな・しとやかな・いろいろばい・なまめかしい・あられもない」の5語、それに「わんぱくな」は、26ページでも断つてあるように、わたしのいうセックスに関する形容詞性用語ではない。調査への導入と世代の違いによることばの使用意識のズレの調査のためにとり入れたものである。集計の結果は、「はすっぱな」「尻軽な」と合わせて、第9表に示すとおりである。ただし「わんぱくな」は、第13表(42ページ)に示す。

「おてんばな・しとやかな・なまめかしい」の3語は、共通して男×?に回答が集中し、女×?・男女○や無答は非常に少ない。つまり大部分の被調査者は、これらのことばは女性にだけ使うのだと回答している。世代や性による違いはほとんどない。「いろいろばい」だけは、男女双方に使ってよいと回答しているものが若干多い。特に中・老年の男性がそうである。

ある中年男性の国語学者の調査票には、次のような注記がしてあった。

「なまめかしい」は男?。男に使うときは、**女性的な男**。

「いろいろばい」は男女○。男に使うときは、**女性的な男**。

第9表 男×?の多い語

		青年層 男 女		中・老年層 男 女				青年層 男 女		中・老年層 男 女	
おてんばな	男×?	%	%	%	%	あられもない	男×?	%	%	%	%
	女×?	96.4	98.6	98.6	97.6		女×?	68.2	58.3	85.1	89.4
	男女○	1.7	1.5				女×○	2.7	2.9		
	無答	0.4		1.2			無答	10.3	14.6	5.4	5.9
しとやかな	男×?	93.3	96.6	96.0	94.1	はすっぱな	男×?	49.4	68.5	89.2	95.3
	女×?	1.7	1.0	1.4			女×?	4.9	6.8		1.2
	男女○	2.2	0.5	2.7	2.4		男女○	13.9	8.3	4.1	1.2
	無答	2.7	1.9	3.5			無答	31.8	16.5	6.8	2.4
いろいろばい	男×?	86.5	84.0	70.3	77.7	尻軽な	男×?	61.9	57.3	89.2	81.1
	女×?	0.8	2.0	1.4			女×?	7.1	9.2	4.1	2.4
	男女○	8.5	11.7	25.7	15.3		男女○	18.8	22.3	5.4	10.6
	無答	4.0	2.4	2.7	7.1		無答	12.1	11.1	1.4	5.9
なまめかしい	男×?	86.5	92.7	93.2	92.9						
	女×?	2.2	1.0	1.4							
	男女○	4.9	2.4	1.4	3.5						
	無答	6.3	3.9	4.1	3.5						

また、別の中年男性の国語学者の調査票には、次のようにあった。

「いろいろばい」は男?。男に使うのは、芸能人(おやま)などの場合。

いずれにせよ、「おてんばな・しとやかな・いろいろばい・なまめかしい」は、女性のとる態度・振舞であって、男性のとる態度・振舞ではないという固定的な価値観が世代や性の別を問わず、広く日本人に行きわたっているようである。国語辞書の意味用法の記述にも、この価値観に忠実な注記がなされて然るべきだと思う。(53ページ以下の(記)(1)(2)を参照のこと。)

「あられもない」は、中・老年層では男女ともに女性にだけ使うという回答が圧倒的だが、青年層ではそれが減って、男性にも使ってよいというが増えてくる。無答も増えている。「おてんばな」など前の4語と比べて世代間のズレがかなり現われているが、それでも「あられもない」態度や振舞をするのは、やはり女性であって、男性ではないというのが日本人の標準的な価値観のよう

だ。その意味では、岩波国語辞典や例解国語辞典の記述は、この日本人の標準的な価値観に忠実なものといえる。

岩波国語辞典（初版）

あられもない〔連語〕普通にはあり得ない。特に女の態度・振舞いとして似合わしくない。△「あり」＋「る」（助動詞）＋「も」（助詞）＋「なし」因あられもなし

例解国語辞典

あられもない（形）〔「有り得べくもない」「似合わしくない」意〕女が女らしくなく、おてんばなこと。「お嬢さまの——ふるまい」

「はすっぱな・尻軽な」の2語は、中・老年層では、男女ともに回答が男×?に集中している。国語辞典の記述も、これと一致する。

はすっぱ

①岩波国語辞典（初版） 女の態度や行いが軽はずみで下品なこと。うわきで品行のよくないこと。またその女。

②明解国語辞典 〔俗〕〔女の態度か〕下品でいやしいさま。はすは。

③例解国語辞典 女の態度や行いが軽はずみで下品なこと。またその女。「——な〔の〕娘」「——に見える」

④広辞苑（初版） 「はすは」の促音化。

はすは〔連業〕 ①連の業。②「はすはおんな」の略。③女のおきやんなこと。おこないの軽はずみなこと。浮気で身持のさだまらないこと。また、その者。

⑤大日本国語辞典 はすは 〔一〕はすはをんな（連業女）の略。（中略）〔二〕女の、身持あしく、からはすみなこと。浮気に貞操なきこと。又、其人。（下略）

⑥大言海 はすは 〔斜端ノ意カ、或ハ云フ、連業ノ義カ〕〔一〕はすはめ（連業女）ノ略。其条ノ一ヲ見ヨ。〔二〕旅館ノ牌。（中略）〔三〕延女ナド性質、身持ノ落チツカメヲ云フ語。（下略）

⑦和漢雅俗いろは辞典（増訂2版）

はすは 連業、はすはは、＝又うはき（芸妓の生活を然か呼ぶ）、はす

はすはめ 連業娘 おてんばはすはめ、しりがるはすはめ（連業女を参照せよ）

はすはをんな 連業女 いたづらをんな、＝あそびめ

⑧日本大辞書（増訂7版）

はすは〔斜端ノ義〕、一説、連業テ、業ツツ離レ、又綻ビ易イ義ナドトイフ。〔一〕延女ナド、行状、性質ナド軽タシイノヲ賤シメル語。＝軽佻。

（下略）

⑨ヘボン和英辞書（3版）

HASUHA ハスハ (coll.) A noisy person.

尻軽

①岩波国語辞典（初版） ①（女が）うわきなこと。②動作が活発、または軽軽しいこと。

②明解国語辞典 ①動作の活発なこと。②言動の軽軽しいこと。③女の浮気なこと。

③例解国語辞典 〔「尻重」の対〕①動作がきびきびとして気軽に物事をするさま。「——に飛びまわって世話を焼く」「——な（の）男」②女が浮気（うわき）であること。多情。〔——な（の）女〕

④広辞苑（初版） ①尻の軽いこと。立居（たちい）の敏捷なこと。②振舞の軽々しいこと。③女の淫奔なこと。

⑤大日本国語辞典 ①しりがること。起居の活潑なること。②拳動の軽卒なること。③女の浮気なること。

⑥大言海 しり（尻）衆、しりが軽いニ同ジ。（しりおもニ対ス）

しり（中略）尻が軽いトハ、起居、気重ナラズシテ、カヒガヒシ。又、女ノ、浮気ナルヲモ云フ。（下略）

⑦和漢雅俗いろは辞典（増訂2版） 見出語になし。

⑧日本大辞書（増訂7版） 〔一〕起チ居ノ活潑デアルコト。——西鶴、一代女、「唯ニ二度ニテしりがるニ立チ行ク」〔二〕嬌蹇デアルコト。＝乱レタ風俗デアルコト。

⑨ヘボン和英辞書 初版、2版、3版ともに見出語になし。

以上のとおり、国語辞書の多くは、「はすっぱ（はすは）・尻軽」の2語を性